

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第888回ゼミ報告] 2024年10月18日号

今号は第888回ゼミの報告です。同じ数字、それも8並びとは何かお祝いしたい気持ちに。記念写真を忘れた！でもハイブリッド開催ではね…

10月9日のゼミは、斎藤幸平『マルクス解体』第2部「人新世の生産力批判」の第5章「ユートピア社会主義の再来と資本の生産力」を竹内さんの報告で行いました。伝統的にマルクス主義は技術進歩歓迎。新技術の負の側面・生産力批判。近年のAI：ナノテク発展・不安定雇用・テクノ封建制。完全自動化と仕事なき世界・限界費用ゼロと潤沢さの社会・ネットワーク効果と私有財産の危機。大工業発展・富の創造で労働の意味の低下・自由時間増加：左派加速主義。形態的包摂と実質的(素材)的包摂を区別：資本の指揮下で労働者従属：構想と実行の分離。労働の社会的生産力が資本の生産力として現象・マルクスの生産力概念は資本の生産力より広い、人間の生産の力能。資本主義が協業を利用・相対的剰余価値。労働過程の素材的変容と再編・史的唯物論の伝統的見解と決別。科学技術進歩で自然征服：資本の生産力の負の意味あい。生産関係が生産力を規定。資本の生産力と実質的包摂概念でラディカルな転倒が必要、かつての史的唯物論の定式化を放棄。自由にアソーシエイトした労働者による管理・資本制で分離した構想と実行の再統一・物質的代謝を合理的に規制。国家資本主義で官僚階級が支配と実在した社会主義の失敗。生産手段の私有廃止＝社会主義に転換→伝統的なマルクス主義。

AIの可能性：実質的包摂・労働疎外を克服できず。ポスト資本主義未来構想。討論では、これまでの章とは異なり、この章は非常に分かり易く、読みやすかった、との声がゼミの皆から。形式的包摂と実質的包摂に議論が行われ、労働者の社会的組織、働かせ方では、労働者が協業の下で生産ラインにおいて働くことは形式的包摂だが、構想と実行の分離、実質的包摂へ。職人技・専門性の解体は限界費用ゼロか。服には快適性・利便性に見栄えも。会場参加は小野さん・川口さん・山口さん。高田、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・後藤さん・田中(與)さんの合計8名の参加でした。

\* 10月23日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 899 2306 9441 パスコード: 194931

\* 次回は第889回です。第1回ゼミは1977年10月20日、テキストはヒルファーディング『金融資本論』、第1回から参加されているのは小野満さん。小野さんは近日、単著を出版されるとのことです。

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

10月23日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』第3章 一般的利潤率傾向的低下 報告：高田

11月13日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『マルクス解体』6章 Marxと脱成長コミュ… 報告：川口さん

11月27日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』第4章 商品資本・貨幣資本…転化 報告者未定

その後 12/11, 12/25 [アイクルの部屋] 2025/01/08, 01/22, 2/12, 2/26

◇第三学科事務局/高田好章：ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso